

1 はじめに

まず、「未来の京都創造研究事業」とは、「大学のまち・京都」が有する知の集積を活用し、未来の京都づくりに向けた政策を創造するための調査・研究を行うとともに、最先端の研究に取り組む意欲ある若手研究者等の発掘・育成とネットワーク形成を目的として、公益財団法人 大学コンソーシアム京都と京都市が平成 23 年度から始めた共同事業である。

今回、本事業の一環として、未来の京都づくりに向けた政策を創造するための調査・研究を行うための貴重な情報を得ることを目的に「市民生活実感調査」の分析を行うこととした。

「市民生活実感調査」は、京都市が政策評価制度の一環として、平成 16 年度（平成 15 年度は試行実施）から 8 年間にわたって行っており、市民意識の変化やニーズを的確に把握し、より良い市政を実現するための有効な手法であるが、これまでは市全体の分析のみ行っており、各質問項目と人口構成や地域特性との関係などの詳細な分析は行われていなかった。

おりしも、平成 23 年度から市の基本計画「はばたけ未来へ！ 京プラン」の取組期間が開始し、これからの 10 年間を見通したとき、市の政策や事業決定のための判断材料として、この「市民生活実感調査」に対する細やかな分析結果が用いられることは望ましいと考える。

そこで、今回の分析を行うにあたっては、これまで活用されていなかった回答項目（世代、性別、居住区）を用い、すべての質問項目に対して「世代別・性別」分析と「居住区別」分析を新たに行うこととした。これにより、従来の分析よりも多角的で深い分析を可能にすることができたと考える。